

参加  
募集

# 洞海湾干潟の清掃

～絶滅危惧種「シバナ」を守れ～

2005年11月4日（金）

14:00～16:00



かつては「死の海」とまで呼ばれた洞海湾は、行政・企業・市民による水質浄化の努力が実り、昨今では、多くの魚類、エビ・カニ類、貝類が住める海に蘇りました。本城橋付近にある干潟では、多くの野鳥が見られるものの、同時に多くの漂流物や廃棄物も見られます。そこで、2004年11月、美しい干潟を取り戻すために、清掃を行い、大量の廃棄物とともに、絶滅危惧種である「シバナ」の群落も見つかりました。

このイベントは、干潟を清掃し、本来の干潟の持つ浄化機能を果たせるとともに、「シバナ」を保全しようとするものです。

日時：2005年11月4日（金曜日）14:00～16:00

※小雨決行、大雨時中止

清掃場所：八幡西区本城橋付近の干潟（八幡西区洞北町）

プログラム：14:00 一次集合（九州共立大前）、バスで移動

14:30 二次集合（本城橋東）

14:30～15:00 概要説明、干潟の機能について

15:00～16:00 清掃作業

集合場所：下記のどちらかにお集まりください。（集合時間が異なるので注意）

（一次集合）九州共立大学正門前に14時、貸切バスにて移動

（北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8）

アクセス＝北九州市高速道路利用の場合→黒崎ICより折尾方面へ（20分）または、国道3号線利用の場合→折尾女学園入口交差点より高須方面へ（5分）

（二次集合）八幡西区本城橋付近の干潟前の駐車場に14時30分

アクセス＝黒崎バスセンターより若松営業所（20-4）か二島駅（13-5）バス

「小島」下車または、折尾駅より二島工業団地（33）バス「小島」下車

対象：学生、市民

服装：作業しやすい服装、ゴム長靴、軍手又はゴム手袋、タオル、飲料

参加費：無料

主催：九州共立大学工学部環境サイエンス学科、

NPO北九州ビオトープ・ネットワーク研究会

後援：北九州市港湾局、北九州市立大学国際環境工学部、水際線利用協議会

支援：（株）エヌエスウインドパワーひびき

問合せ：NPO北九州ビオトープ・ネットワーク研究会

TEL：093-695-3311（内2760）、E-mail：yasueda@env.kitakyu-u.ac.jp

コラボ環境ネットワーク

||

九州共立大学環境サイエンス学科 2年生  
環境フィールドワーク

+

NPO北九州ビオトープ・ネットワーク研究会  
第24回環境実践イベント  
江川・洞海湾の水辺を考える その7

シバナ

*Triglochin maritimum* Linn.

ホロムイソウ科シバナ属

北海道～九州の海岸塩性湿地に分布する多年草です。シバナには春咲きの北方型（日本海側以北）と秋咲きの南方型（太平洋側）があります。また、西日本のほうの個体は葉の幅がすこし広がっています。

▼草丈：15～50cm

▼生育場所：河口部や干潟などのやや泥質な塩性湿地

▼国評価：絶滅危惧Ⅱ類（環境省）

▼九州管内評価：絶滅危惧Ⅱ類（福岡県）

▼環境の指標性：本種は河口部や干潟など塩性湿地における環境の指標性を有している。また本種の生育場所は、他の希少種の生育も示唆できる。

▼参照URL：

<http://www.gityo.go.jp/ikimono/dic/011.html>